



佐川町のみなさん、はじめまして。4月より地域おこし協力隊として自伐型林業に取り組んでおります、伊藤啓太と申します。出身は茨城県ですが、昨年までは宮城県で学生をしており4年間仙台市に住んでいました。大学ではコンピュータを利用したデジタルなものづくりを専攻しており、その技術を利用した家具の制作などに取り組んでいました。そこで木の素材としての魅力、またその扱いの難しさを感じ、もっと木について知りたいと思い林業に興味を持ちました。そのような時に自伐型林業とものづくりを推進している佐川町を知り、大学での学びを活かせるのではないかと思います移住を決意しました。

佐川での暮らしも半年が経ち、初めての秋がきました。山へ向かう途中の風景もすっかり秋模様で、棚田の稲掛けや樹木の落葉など、また一つ佐川の新たな風景を目にすることができて嬉しい気持ちであります。この半年間、実際に山での作業を経験して、自然と向き合うことの難しさ、そしてその奥深さを感じています。「木を知ることは山を知ること」という言葉の通り、とことん山と向き合い、これからも学びを深めていきたいと思います。

そして、お仕事だけではなく、地域のイベントなども楽しみにしています。こちらにきてからたくさんの人に良くしていただき、本当に佐川に来てよかった、そしてもっと佐川のことを知りたいと思う毎日です。これからもまた地域の行事やお手伝いなど、たくさん関わりたいと思いますので、見かけた際はどうぞ気軽にお声をかけていただけたら嬉しいです。それでは、町民のみなさんこれからどうぞよろしくお願いいたします。



チーム佐川 監督メッセージ No.59

～ひとりごと・つぶやき・ボヤキ～

高幡町村議会議長会親睦体育大会

10月9日、中土佐町の小草ふれあい公園パークゴルフ場で開催された、高幡町村議会議長会親睦体育大会に参加してきました。高岡郡と幡多郡を合わせた10町村の議会議員のみなさんが集って、パークゴルフで競い合う体育大会でした。日頃は、町村長・町村議会議長会として、国や県への要望事項を協議し、町村の発展のために一致団結して要望を行っている仲間ではありますが、今回はライバルとなり正々堂々と競い合いました。私は初めての参加では

ありましたが、佐川町からも多くの町議会議員さんが参加され、優勝を目指してみんなで力を合わせ頑張りました。永田議長をはじめ、議員のみなさんが大いに奮闘し、何と佐川町が栄えある優勝を勝ち取ることができました。親睦体育大会といえども、優勝すると大変嬉しいもので、議員のみなさんと一緒に大いに優勝の喜びを分かち合い、杯をあげました。議員のみなさん、おめでとうございます！ありがとうございました。

チーム佐川 監督 堀見和道(町長)

〇月〇日晴れ 堀見和道

観光・イベント情報・お土産・古民家カフェ

11月のお休み
5(火)、11(月)
18(月)、25(月)

【さかわ観光協会】
佐川町甲1472番地1
旧浜口邸内
☎0889-20-9500
9:00～17:00
休館日：月曜
(祝日の場合翌日)

佐川町の観光拠点より
ホットな話題を
ご紹介します

一般社団法人
さかわ観光協会
ぽつとステーション

公式
Facebook



江戸時代の風情を残す白壁の建物に、県内出身・在住の作家さんによる絵画などの芸術作品を15カ所に投影します。一夜限りの光と音楽の幻想的な夜。ぜひお越しください。

★アーティスト

里見 和彦／石川 由以／葛目 結／小泉 斉／ハナカタ マサキ／橋村 政海／さだ ひさお／RKCプロダクション／さかわ発明ラボ／佐川町内の児童・学生作品

★ミュージシャン ♪fairypitta (フェアリーピッタ)

★屋台・飲食コーナーもあります！

『第12回さかわ・酒蔵ロード劇場 2019』 通行規制ご協力をお願い

今年も町内外から多数のご来場で、混雑が予想されます。安全確保のため、当日は旧浜口邸から牧野富太郎ふるさと館までの町道を16時30分から21時までの間、自主規制の通行止めさせていただきます。

なお、ギャラリーほていから西森電機商会までの間は例年通り通行止めとなります。

ご不便をおかけいたしますが、みなさまのご協力をお願いいたします。

ボランティア参加してくださるみなさまへ

11月16日(土) 16時までに名教館に集合してください。
よろしくお願いいたします。



私が佐川町に来てから主な業務として運営に携わった「わんさかわっしょい体験博」。

10月5日に開幕し様々なプログラムを取材させていただきました。感じたのはお客様が心の底から各プログラムを楽しんでいるということ。これは各プログラムを実施してくれた地域の方(パートナー)の技術と熱意のたまもの。

ただパートナーから「それぞれが良くてイベントとしてはどうなの？地域にメリットがあるの？」各パートナーが点は打ってくれても線にしなくてはお客様、地域の方の思いが無駄になる。強い危機感と次回への使命感を感じました。地域の方々に様々な形で利益を感じてもらえるよう、今回の課題を解決し地域が「線」で結ばれるイベントにしていきます。